

長期事業目標と琵琶湖森林づくり事業の将来見通しについて

資料 琵琶湖森林づくり基本計画かかる基本指標と琵琶湖森林づくり事業について

琵琶湖森林づくり基本計画										琵琶湖森林づくり事業(県民税充当事業)												
		基本指標					実績	戦略プロジェクト			事業		目標		実績	今後の事業見通し						
		施策目的	H15	H21	H26	H32	H21	目標	H 2 1	H 2 6												
1環境に配慮した森林づくり	(1)多面的機能を発揮させる森林管理の推進	民有林に占める保安林面積の割合	33%	35%	36%	38%	34%															
		山地災害危険地区における治山事業着手割合	49%	57%		65%	51%															
		(治山事業による保安施設整備割合)			61%	65%																
	(2)人工林の特性に配慮した森林づくり	除間伐を必要とする人工林に対する整備割合	64%	70%	80%	90%	65%	環境林面積(累積)	800ha	1,600ha	陽光差し込む健康な森づくり事業	1-1環境林整備事業	環境林面積(累積)	H32までに3,200ha	H21まで累積553ha	・環境林整備はH32まで年間200haを目標に実施。						
								年間間伐実施面積	2,600ha	3,100ha		1-2農地漁場水源確保森林整備事業	農地水源等で間伐実施面積	H21500ha	H21319ha	・間伐実施目標を達成するため事業継続。						
												1-3森林環境の調査研究				・間伐実施目標を達成するため事業継続。						
												1-4森林吸収源確保事業	交付金による間伐促進支援面積	H221,700ha		・H22～24の3カ年に集中実施						
												湖国の森林と自然を守るニホンジカ特別対策事業	年間8500捕獲目標のうち4300頭を実施	H224,300頭		・H22～24の3カ年に集中実施						
								長寿の森整備事業	長伐期移行面積	H32までに5,000ha	H214,029ha	・H32目標との差約1000haを達成するため事業継続。										
								年間間伐材利用量	4,000m3	36,200m	森林を育む間伐材利用促進事業	3-1地球温暖化防止間伐材利用促進事業	年間間伐材利用量	H214,000m3/年	H216,209m3/年	・事業内容を見直し、間伐材搬出利用するための基盤整備にシフトし、拡充実施。						
												3-2間伐材搬出対策事業	(年間作業道等開設延長)	H2636,200m	H2025,115m							
											未来へつなぐ木の良さ体感事業	7-2木製品利用促進事業				・事業内容を見直しながら、間伐実施目標達成のため、継続実施						
	(3)天然林の保全管理の推進										里山リニューアル事業	里山整備面積	H21100ha/年	H21204ha/年	・継続実施。							
2県民協働による森林づくり	(1)県民の主体的な参画の促進	森林づくり活動を実践している市民団体等の数	30団体	60団体		90団体	104団体	森林づくり活動市民団体年間延べ活動日数	400日	750日	みんなの森づくり活動支援事業	6-2みんなで始めよう活動公募事業	森林づくり活動市民団体年間延べ活動日数	H21400日/年	H21424日/年	・H32目標達成のため、事業内容を検討しながら継続実施						
					125団体	150団体						6-3流域森林づくり委員会	流域森林づくり員海設置数	H217地区	H216地区	・H32目標達成のため、事業内容を検討しながら継続実施						
	(2)里山の整備・利活用の推進	里山協定林の数	0箇所	10箇所	25箇所	40箇所	9箇所	流域づくり委員会設置数	7箇所		みんなの森づくり活動支援事業	6-1県民参加の里山づくり事業	里山協定林の数	H32までに40箇所	H2111箇所	・H32目標達成のため、事業内容を検討しながら継続実施						
	(3)びわ湖水源の森の日・びわ湖水源の森づくり月間の取組	びわ湖水源の森づくり月間への参加者数	1,583人	3,000人	8,000人	13,000人	6,742人					(企業の森締結数)		15協定	協働の森づくり啓発事業	びわ湖水源の森づくり月間への参加者数	H32までに13,000人	H216,593人	・H32目標達成のため、事業内容を検討しながら継続実施			
3森林資源の循環利用の促進	(1)県産材の利用の促進	製材需要に占める県産材の割合	19%	24%		32%	33%	木の学習机累積導入数 県産木材産地証明制度割合 (びわ湖材認証を行った年間木材量) (高性能林業機械導入累積数)	16,200組	20%	未来へつなぐ木の良さ体感事業	7-1木の香る淡海の家推進事業	県産木材を使用した住宅建築戸数	H21100戸	H2179戸	・事業内容を見直しながら、県産材の年間利用目標を達成するために継続実施。						
					(県産材の素材生産量)		59,000m3					120,000m3						7-3木の学習机整備事業	木の学習机累積導入数	H2116,200セット	H2111,044セット	
																		7-5びわ湖材産地証明制度	県産材産地証明割合	H2120%	H2044%	
	(2)森林資源の有効な利用の促進												(びわ湖材認証を行った年間木材量)	H2618,000m3	H209,595m3							
4次代の森林を支える人づくりの推進	(1)森林所有者等の意識の高揚	地域の森林づくりを推進する集落数	25集落	75集落	87集落	100集落	56集落	60歳以下の作業員が占める割合	55%		未来へつなぐ木の良さ体感事業											
	(2)森林組合の活性化	受託契約に占める長期にわたる契約の割合	10%	20%		50%	37%	森林組合数	7組合													
		(森林組合の低コスト施策実施面積)			660ha	1,400ha		(森林組合の木材生産に専門的に従事する作業員数)		50人												
	(3)森林環境学習の推進							指導員が常駐する施設数 (森林環境学習の年間受講者数)	10施設		森林環境学習「やまのこ」事業	指導員が常駐する施設数	H2110施設	H218施設		・小学4年生を対象とした「やまのこ」のほか、すべての年代を対象とした森林環境教育を実施。						
														H2620,000人	H2012,928人							

)下段、斜文字は、当初になく、途中から追加した事業および昨年度基本計画の見直しにより変更・追加した指標・目標を示す